



# 家庭学習のすすめ Vol.2



## 大崎町立持留小学校

校長：長澤 俊英 教頭：住田 隆明

【児童数】	20名	【18戸】	
1年生	6名	4年	1名
2年生	2名	5年	6名
3年生	4名	6年	1名

### 【教育目標】

「自ら学び、心豊かにたくましく  
生きぬく持留の子を育てる」

### 【校訓】

「かしこく やさしく たくましく」

### 【キャッチフレーズ】

「元気いっぱい、やる気いっぱい、夢いっぱい  
『きらり輝く持留の子』」

## I 親子ノート

- ねらい  
基礎学力の基盤をつくる。
- 内容

【「親子ノート」の内容↓】

漢字や漢字の部首名を正しく確実に覚えるために、毎回3文字の漢字（ひらがな・カタカナ）に取り組む。漢字は書き順を唱えながら覚える。確実に覚えたと思ったら、書き順を唱えながら、親に指書きを見せる。親は漢字ドリルを活用し、正しい書き順で書いているかをチェックする。

正確性とスピードを育成するため、四則計算（+・-・×・÷）のマス計算に取り組む。出題数は、学年に応じて異なる。  
目標をもち、集中して取り組めるように、毎回計算のタイムを計り、グラフのページに記入する。慣れてくると、子ども自身でできるようになるが、子どもの意欲を高めるために、ときには親が、時間を計測したり、計算が正しいかをチェックしたりする。

学力の基盤と豊かな心を育むために、毎日読書に取り組む。読んだ本の名前と読んだ時間を書く。読書に親しむ習慣づくりのために、親に余裕があるときや読書週間のときには、親子で読み聞かせをしたり、読んだ本の感想を交流したりする。

### 子どもの感想

- ・ マス計算に取り組んでいるおかげで速く計算できるようになった。とてもうれしい。
- ・ 書き順チェックにはあまり取り組めなかった。

## II メディアコントロール週間の取組

- ねらいと内容  
メディアをコントロールした生活をする中で、学習や読書をしたり、家族と話したり、お手伝いをしたり、体操などで体を動かしたりする時間を増やす。
- メディアコントロール週間における毎日の振り返り事項（チャレンジカードの内容）  
【↓メディアコントロール週間チャレンジカードの「生活習慣のふりかえり」の部分】

生活習慣のふりかえり	◎自分からできた	◎言われてできた	△できなかった				
日・曜日	6/18 (月)	6/19 (火)	6/20 (水)	6/21 (木)	6/22 (金)	6/23 (土)	6/24 (日)
ふりかえり内容							
メディアコントロールの約束が守れた。							
( )時に起きる。							
朝ごはんを食べた。							
朝・昼・夜、はみがきができた。							
( )時に寝る。							

### 保護者の感想

- ・ 中学校のテスト期間に合わせてあるので、取り組みやすい。
- ・ メディアコントロールに、毎日取り組むことが難しかった。